

# How you can use VDF®?

## VDF®から広がる、環境ビジネスや環境への取り組み

### 広がるVDF®のビジネスモデル

染谷商店は世界で初めてVDF®を開発して以来、数々の循環型社会のビジネスモデルを創造してきました。例えばコープ東京では、店舗で総菜などを揚げた油を自社でVDF®にし、配送用トラックで使用しています。また、東京世田谷区二子玉川園の玉川高島屋では1998年からショップ間送迎用のVDF®バスを運行。このバスはサンクスネイチャーバスをモデルにした妹分で、燃料であるVDF®の原料は高島屋のテナント飲食店の協力で回収されたものが使用されています。

またVDF®は、ディーゼル発電の燃料としても使用できるため、2005年富士ロックフェスティバルにおいて舞台照明の発電に使われました。さらに2006年4月のアースディ東京でも、この日の化石燃料から排出されるであろう約1トンもの二酸化炭素をVDF®によって代替することを目指し、開催日のVDF®使用量をつくるための廃食油を集めるというプロジェクトを実施。「VDF®発電を野外コンサートのスタンダードに!」という運動や、VDF®バスを走らせ「VDF®東京油田開発」を掲げたムーブメントも巻き起こるなど、VDF®を取り巻く輪はどんどん広がりをみせています。

また、VDF®を作るために菜の花などを植えて収穫するという取り組みも新たに始まり、染谷商店グループが発信したコンテンツが全国各地で応用され展開しています。そう、VDF®は緑の石油です。

### サンクスネイチャーバス

てんぷら油で走るエコロジーバス



東京の自由が丘を巡回する地域のバスです。てんぷら油のリサイクル燃料VDF®を使

い、地域のお店や施設(サポーター)の会費で走らせています。97年4月1日に運行を開始し、今ではVDF®の走る広告塔として活躍中です。バスルート内では家庭の廃食油の回収もしています。また、省エネルギーセンターや環境省より賞を受賞したほか、2003年には特定非営利活動法人の認証を得て、バスを走らせながら、環境保全やまちづくり推進の活動を広めています。

#### 問い合わせ先:

「サンクスネイチャーバスを走らす会」事務局  
〒152-0035 目黒区自由が丘3-17-1-402  
☎/FAX 03-5729-2511 (火・金 10:45~17:30)  
e-mail/tnbus@star.odn.ne.jp  
<http://www.thanksnaturebus.org>

### (有) 鳥栖環境開発総合センター

循環社会の構築目指して

〒841-0061 佐賀県鳥栖市轟木町929-2  
☎0942-83-4069 (代)  
<http://www.tosukan.co.jp>

鳥栖環境開発総合センターは、佐賀県で42年間一貫して廃棄物の収集、運搬、処理を行ってきました。しかし昨今は、この範疇にとどまることなく、廃棄物の中に有用性を見出し、これを資源に転換して環境の保全と創造に寄与する事業を積極的に展開しています。VDF®や有機性汚泥をコンポスト化して肥料を製造する事業などがその例です。VDF®は単に廃食油のリサイクルという面にとどまらない潜在的ポテンシャルを有していると私たちは考えます。なぜなら、VDF®の原料はエコシステムの底辺を形成しており、無尽蔵に存在し、エネルギーの根源である太陽の光を利用して再生産を繰り返す、しかもライフサイクルの比較的短い植物に由来するからです。このことは、これから私たちが構築していかなければならない循環社会におけるエネルギー源となりうる可能性を示唆しています。